



2012.2.5 シューベルト神父様 金祝

## 御聖体・靈的な糧

助任司祭ニコ・コンデイ

人間は誰でも、食べ物が必要とします。食べ物が足りない場合には、いろいろな問題が起こります。中でも一番の問題は争いです。その争いによつて、死がもたらされます。食料が足りないために多くの人々は飢餓や病氣、餓死するということになってしまいます。しかし、食料が充分足りない人々が何とか生き続けることが出来ているのが現状です。

毎日、いただいている食事によつて、私たちの血となり肉となつて、私たちの肉体的生命を生かし、維持してくれまます。それと同じように、イエス・キリストの御体と御血であるご聖体を拝領することによつて、私たちは靈的いのちを新たにされ、維持し、成長していくのです。イエス・キリストの御体を食べ、御血を飲むことによつて、私たちはイエスと交わることができるといふことができます。私たちはイエスと共に生きていきます。

イエス・キリストの御体と御血によつて、私たちは一つになります。様々な違いを超えて結ばれます。麦粒から一つのパンが作られ、一つのパンを食べる多くの人が一つになつて、多くの人が一つの体を作ります(ぶどう酒も同じです)。カトリック教会は、聖体秘跡のうちにイエス・キリストが現存していることを信じています。ミサの中で一つのパン、一つの杯にあずかることは私たちがキリストと一致し、キリストと永遠の命を共にすることです。また私たちはキリストにおいて、深く結ばれ、兄弟姉妹としての一致を実現することを意味します。ですから、聖体を拝領する時に、この信仰の意識が大事なことです。

この靈的な糧を通して私たちがイエスと共に生き続けるよう、また私たちが、永遠の生命に、たどりつけるように、祈つて生きたいと思ひます。

**平日のミサ時刻:**

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時  
 第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)  
 火曜日 午後7時  
 金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時  
 聖体礼拝: 土曜日 午後5時30分

**主日のミサ時刻:**

土曜日 午後2時30分  
 日曜日 午前8時・9時30分・午後6時  
 Sunday Mass in English 9:30 am  
 (at the Maria Kan Hall)  
 ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後3時30分

2012年2月5日

教区年間テーマに基づく南山教会の取り組みについて

司祭団より  
デイズ葬儀社より「葬儀のしおり」百冊の寄付があった。

## 報告事項

次年度各会委員報告依頼再確認  
各会で行い、3月4日の運営委員会で集約する。

名前とメールアドレス、電話番号を知らせる。

## 司教様を囲む新年の集い

信徒協の主催で1月15日に布池教会で行われた。パーティーの準備やミサ献金、侍者等で南山教会の多くの皆様からご奉仕をいただいた。おかげで良い会となった。ミサの参加者は四百名、パーティーの参加者は二百七十名であった。新成人は12名が参加した。

第11回全国力障連名古屋大会に7月14日・15日に第11回の大会が名古屋で開催される。

五百名以上の参加が見込まれる。受け入れのご協力をお願いしたい。

信徒の皆様からのアイデアはただけなかったので、運営委員会で話し合った。

「福音宣教の具体化」について、日常生活の中で意識して行っていることを月報の紙面などで分かち合うことをしている。小さなことでも共有していることに意味がある。

3月月報で呼びかけを行う。

4月からの入門講座のチラシを新聞に挟む取り組みも行う。

ボクダン神父様が多治見教会時代に行つて反響があった。

教会維持費について

営繕の積立てが始まることもあり、どのように徹底すれば安定して維持献金を集めることができるか検討した。

皆様の理解が進むように4月上旬のミサのお知らせの時に財務委員長から話をしていただく。資料を聖堂玄関に置いておく。

教会に来ていない信徒を含め、全世帯に手紙を送り、教会へ来るよう促すとともに維持費

についてもお知らせする。

どれくらい出せばよいのか分からない方のために目安もお示しする。司教様のお話では収入の3%。ただし、この数字に縛られる必要はない。苦しいとき

に割合が下がるのはやむを得ない。それぞれのご家庭の状況に応じて出してください。

毎月の状況をお知らせに載せ

る。

お知らせするときには英語での表記もつける。外国にはあまりない教会維持費制度をご理解

いただく。

南山教会は、他教会に比べて教会維持費について発信していない。毎月教会維持費納入についてお知らせする教会もある。

毎月納入していただくようにすると収入の見込みが立てやす

いとの話もあったが、当面は、現状通り、毎月納入や一括払い

等が選択できるようにする。意識付けのために納入方法についてアンケートを行う。

月報にも記事を載せる。

お金だけでなく労力も足りない。

き、立候補・推薦↓投票の形で決定した。

来年度の委員長は、泉亨氏。運営委員長の業務について、運営委員が意識をもってサポートしていくことが確認された。

その他

マリア会自主グループの清掃を3月いっぱい廃止。これまで信者会館の廊下、トイレ等の清掃を行ってくださった。構成員の高齢化による。今後、信者会館の共用部分はボーイスカウトで月1回、ヨセフ会で月1回担当する。他のグループにも担当していただきたい。信者会館の各部屋は利用された方で清掃していただく。

## 各会報告

### 営繕委員会

処理済みの内容一覧が示された。聖堂の音響に不具合があったのは、受信アンテナの感度切り替えスイッチが感度の低い状態になっていたことが原因であった。高い感度に切り替えたことで直った。原因究明には時間がかかった。

### 典礼委員会

1月15日 司教様を囲む新年の集いミサに侍者6名を派遣。

### 次期運営委員長選出

1月度運営委員会議事に基づ

### 次期運営委員長選出

1月度運営委員会議事に基づ

1月22日 典礼委員会  
 2月5日 シューベルト師金祝  
 2月12日 堅信式  
 2月19日 典礼委員会  
 2月22日 灰の水曜日  
           7時小聖堂  
           19時大聖堂  
 2月26日 志願式  
 ※ 共同回心式は検討中。  
 マリア会  
 1月13日(金) 10時のミサ後、マリア館ホールで司祭団6名を含む65名の方々と新年会を行った。東雲の3段重のお弁当、清まし汁、自家製の漬物(2班の方々)、花びら餅、みかん等を用意。食後にビンゴゲームを和気あいあいと行った。ティータイム後2部に移り、神父様のポーランドの歌、ドイツ語の菩提樹、インドネシア語のアベ・マリア・・・と皆様と楽しく時を過ごした。  
 ポーイスカウト  
 2月26日の9時半ミサで朗読と奉納の奉仕。カブ・ポーイスカウトミサ参加。  
 宗教章講座の開催。1月22日、2月4日・5日、2月26日実施。  
 中高生保護者会  
 1月15日(日) 中高生保護者会  
 1月22日(日) 懇話会 講師は太田



1月29日 ヨセフ会 新年会

「出会いのかけら」というテーマで、中高生と教会学校・中高生保護者を前にお話しいたきました。名古屋教区で中高生担当歴三十年の神父様のお話は非常に印象深いものでした。幼少の頃からのご家庭の事情とその時に感じた思いから、「人をゆずること」「口先きお祈りから真剣お祈りへ」といった体験談を語られ、「高校生の頃ある神父様との出会いがなければ司祭になつていなかった」と振り返られました。まさに太田神父様ご自身の体験における福音だと感じました。「親は偽善者だから・・・」というくだりでは、信仰をどう子供に伝えるか、親として顧みる機会となりました。会の終わりにはお茶とお菓子をいただきながら和やかな雰囲気の中で神父様と雑

名古屋教区太田実神父さまを  
 お迎えしての懇話会(1月22日)

伊澤 美由紀

談いたしました。  
 後日、太田神父様より「中高生の時期は、幼虫がさなぎになり成虫になる時期で、非常にリスキの多い時期だと思います。そんなときに中高生同士が励まし合ったり、癒し合う場を提供したいとおもっています。」というお言葉を頂戴し、これが中高生会の存在意義なのかと、目からうろこがおちる思いです。



# 心の傷の癒しとゆるし

(その8)



## 5. ゆるしとその結果

今まで、ゆるすことを妨げる、ゆるしについての色々な間違った考え方や確信について述べながら、真のゆるしとその結果について語ってきましたが、これからイエスの模範を見ながら、真のゆるしとその結果についてイエスの教えをまとめてみたいと思います。

イエス・キリストは、受難を受けたときだけではなく、人々に拒否され、あざ笑われたとき、不正に訴えられ、試され、命が狙われるとき、または、弟子がイエスのことばをなかなか理解できなかったときやイエスを裏切ったときにも、傷つけられて、苦しんだはずですが、けれども、どんなに大きな傷を負わされても、これがイエスが実際に死んだほど大きな傷であって、イエスはこの傷を負わせた人を必ずゆるすことができたの

です。どうして、イエスは、どんなに大きなとげさえもゆるすことができたのでしょうか。

まず、「宝を天に積みなさい」とか「何よりも神の国を求めなさい」(マタ6・19・21、33)と教えたイエス・キリストにとつて最も大切な宝とは、父である神との愛の交わりであったということが分かります。そして、イエスは、人間を完全に満たすことのできる唯一のものである神の愛をよく知っておられたので、「虫が食うことも、さびび付くこともなく、また、盗人が忍び込むことも盗み出すこともない」(マタ6・20)という確信、つまりこの世には人間から色々な大切なものを奪い取ることのできる力があっても、神の愛を奪い取ることや、神との愛の交わりを滅ぼすことのできる力が何一つないという確信をもっていました。同じような価値観と確信をもつようになつた聖パウロは、このことについ

て次のように語っています。「わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、力あるものも、高い所にも、低い所にもいるものも、他のどんな被造物も、わたしたちの主キリスト・イエスによつて示された神の愛から、わたしたちを引き離すことはできないのです。」(ロマ8・38、39)他の人々はイエスに対して敵意をもつて、イエスを傷付けることも、命さえ奪い取ることができて、イエスから最も大切な宝を奪い取ることができなかったのです。イエスにとつて本当に危険な人物ではありませんでした。ですから、イエスは彼らを恐れる必要も、敵として考える必要もなかったわけです。

「わたしが来たのは、地上に火を投ずるためである。その火が既に燃えていたらと、どんなに願っていることか。」(ルカ12・49)と言われたイエスは、最も大切にしていた神の愛を自分だけで楽しむのではなく、それを他の人に現すことや伝えることこそ自分の使命であり、こ

の世に生まれてきた目的である」と意識していましたので、この使命を果たすことによつて、すべての人々の心が神の愛の火で燃えるようになることを何よりも強く求めたのです。それから、イエスは、神があらゆる悪から善を引き出す力をもつて(マタ21・42、ヨハ12・32、ヨハ8・28、29、ロマ8・28)、悪の攻撃を受けた人との愛の交わりを深めるためにこの悪を用いることができることをも知っていました。ですから、イエスは、どんなに大きな悪をされても、これが自分の人生や働きを滅ぼし、まったく無意味なものにする意味で絶対的なものではく、この悪さえも、何らかの善のために役に立たせることの出来るものであると信じたので、絶望に落ちることがありませんでしたし、この悪に支配されることもありませんでした。さらに、イエスは父である神を絶対的に信頼して、すべてを父である神にゆだねることができたがゆえに、負わされた傷はすぐに癒されましたし、イエスの愛、神に対する愛も、悪を行った人

に對する愛も深まっていたので、聖パウロをはじめ、多くのキリスト者の生き方を見れば分かることですが、どんな人にも、ものを憎んで、悪に對して怒りを抱いても、この悪を行った人を愛していたので、この人を諦めたり、罪に定めたりしたのではなく、この人にも回心する可能性、悪と罪の支配から解放されて、神のもとに戻り、愛に生きる可能性があるとして、この人のために希望をもったのです。イエスのゆるしは、この人のための希望の表現であつたとともに、神の愛を現す方法でもあつたのです。こうして、イエスは、人々に受け入れられ、評価されていた時だけではなく、拒否され、苦しめられたときにも、ご自分の最も大切な宝であつた神の愛を人々に伝えることができたので、人間が行つた悪は、全然望ましくないものでありながらも、イエスの働きを滅ぼすことができなかったのではなく、そんなつもりがなく、イエスに神の無条件の愛をよりはっきりと現すチャンス、ご自分の使命をより立派に果たすチャンスを与えたわけ

です。聖パウロをはじめ、多くのキリスト者の生き方を見れば分かることですが、どんな人にも、ものを憎んで、悪に對して怒りを抱いても、この悪を行った人を愛していたので、この人を諦めたり、罪に定めたりしたのではなく、この人にも回心する可能性、悪と罪の支配から解放されて、神のもとに戻り、愛に生きる可能性があるとして、この人のために希望をもったのです。イエスのゆるしは、この人のための希望の表現であつたとともに、神の愛を現す方法でもあつたのです。こうして、イエスは、人々に受け入れられ、評価されていた時だけではなく、拒否され、苦しめられたときにも、ご自分の最も大切な宝であつた神の愛を人々に伝えることができたので、人間が行つた悪は、全然望ましくないものでありながらも、イエスの働きを滅ぼすことができなかったのではなく、そんなつもりがなく、イエスに神の無条件の愛をよりはっきりと現すチャンス、ご自分の使命をより立派に果たすチャンスを与えたわけです。

聖パウロをはじめ、多くのキリスト者の生き方を見れば分かることですが、どんな人にも、ものを憎んで、悪に對して怒りを抱いても、この悪を行った人を愛していたので、この人を諦めたり、罪に定めたりしたのではなく、この人にも回心する可能性、悪と罪の支配から解放されて、神のもとに戻り、愛に生きる可能性があるとして、この人のために希望をもったのです。イエスのゆるしは、この人のための希望の表現であつたとともに、神の愛を現す方法でもあつたのです。こうして、イエスは、人々に受け入れられ、評価されていた時だけではなく、拒否され、苦しめられたときにも、ご自分の最も大切な宝であつた神の愛を人々に伝えることができたので、人間が行つた悪は、全然望ましくないものでありながらも、イエスの働きを滅ぼすことができなかったのではなく、そんなつもりがなく、イエスに神の無条件の愛をよりはっきりと現すチャンス、ご自分の使命をより立派に果たすチャンスを与えたわけです。

もし、私たちは、このよう大きな苦しみをもちたら、先ず益々を破り、加害者との不健全な関係

くえいしよ  
俱會一處

加藤迪春

谷川神父様のパラグアイでの宣  
教支援の為に公認会計士坂浦先生  
が主導されておりました谷川会の  
会員でありました折にこの表題で  
会報に寄稿したことがありました  
ので再び掲げました。

その事由は、往時ヨーロッパか  
ら日本へ宣教司牧に旅立たれる神  
父様方は『主の御もとでお会いす  
るまで、さようなら』の一言で肉  
親との別れを告げ、母国を離れ、  
万里の波濤を越えて遙々日本に來  
られたと聞いておりました記憶か  
らパラグアイ宣教の壮途につかれ  
た神父様のご胸中もご同様と存じ  
たからです。

俱會一處とは、仏教用語で諸上  
善人が一つ処に相会う意で、《一  
つ処》を《主の御もと》と認識す  
れば教会の理念と何の不都合もあ  
りません。

某予備校の創業者は、予備校の  
教師は五者〓学者、役者、易者、  
医者、芸者の五者兼備を指標とさ  
れておりました。

学者〓学識経験が豊かである、  
役者〓それを教える演技が上手  
い、易者〓的確な進路指導が出來  
る、医者〓体調の管理が出来る、  
芸者〓疲れた頭脳を癒し、次ぎへ

の活力を生み出す三味線が弾ける  
事でありませう。

この事と神父様の治績を比較す  
ることは凡そ次元が違います、が、  
神父様は、司祭としての教職、祭  
職、牧職をパラグアイと日本の小  
教区で務められた他に学長職、著  
書の発刊（ミッシヨネリ見聞記、  
ラテンアメリカの福音宣布者たち  
他）と万能選手で、しかもこれら  
を実行に移される局面での目配  
り、気配り気働き〓事前の手回し  
が抜群の方でありましたから予備  
校教師の理想像を遙かに超えた正  
に宣教師という風格で聖霊のお働  
きが香っておりました。

神父様の遺影に語りかけますと  
『聖霊降臨の祈りは文語文で唱え  
る方がしっくりする』と言われた  
事を思い起こしました。

公教会祈祷文二一〇頁《聖霊の  
御降臨を望む祈り》の結びには  
『善徳の勲を積み、救霊の彼岸に  
至り、永遠に喜ぶを得しめ給  
え。』とあります。

善徳の勲を積みでは日々の積善  
を心がけ、救霊の彼岸では神父様  
が既に手回しよく設営して下さっ  
ている場所で皆さんとご一緒にお  
会いする事〓俱會一處〓永遠の喜  
びに至ることは本願成就ですから  
神父様の御霊がお導き下さいませ  
ようお祈り致しております。

ボーイ97団の冬行事

伊藤 宗太郎

新春餅つき大会

去る1月15日新年早々、ボー  
イ恒例の新春餅つき大会を行っ  
た。当日は厳しい寒さもやや和  
らいだ。早朝から子ども達は元  
氣よくかまどに薪をくべたり、  
机を並べたり、ダイコンを下ろ  
したりして準備に取り掛かっ  
た。

お母さん達が餅つき炊飯器で  
もち米を蒸し上げ、リーダーが  
石臼で餅をつき始めた頃、丁度  
ミサが終って多くの人々が集  
まってきた。餅つきに挑戦する  
人、餅を丸くこねる子ども達、  
黄な粉や大根下ろしにまぶした  
り、雑煮に調理するお母さん達  
でてんやわんやの大騒動だ。  
キャーキャー、ワイワイと楽し  
い餅つき大会で中庭が大いに華  
やいだ。

お昼までに10臼も餅をつき、  
お腹一杯に食べて満足そうな子  
ども達や教会の人々の笑顔が並  
んだ。大成功だ！ご協力に感  
謝！ オイシカッタね！

白銀の峰に挑む

去る1月27日夜から29日夕方  
までボーイ97団はスキー訓練に  
岐阜県朴の木平高原へ！ 総勢  
33名が観光バスでふかふかの  
積雪で滑走に絶好な雪山に乗り  
込んだ。だが、折から凍える日  
本列島の気候には参った。夜は  
零度以下にシンシンに冷え込  
み、寒い寒い！

朝、子ども達はちらつく雪空  
を物ともせず、カラフルなス  
キーウェアを着込んで颯爽と滑  
り始めた。積雪は1.4米だ  
が、ベテランはリフトでテッペ  
ンまで登り、スイスイと得意然  
と滑走して来た。ヘッピリ腰の  
初心者達はリーダーの指導で転  
んだり、ひっくり返ったりして  
真剣に練習を繰り返していた。

雪崩や行方不明を恐れて、子  
ども達に番号を記入したゼッケ  
ンを着けさせ、お互いに確認し  
あつて注意した。太陽も時折ニ  
コニコと笑顔を出して、子ども  
達が楽しく遊ぶ様子を温かく眺  
めてくれた。

最終日には全員満足して、無  
事に南山教会中庭に帰つてき  
た。オモシロカッタね！



今年の坊主めくりは、Yリーダーの四勝一敗で幕が開けた。小学生女子グループは全員負けず嫌いで、Yリーダーが勝ったのは大人げないということになって、リーダー一人対女子六人の坊主めくりになった。結果的に女子グループが終盤に坊主を引き、リーダーが最終的に姫を引き、リーダー総取りの戦局が二回も続いた。二回目ともなると、坊主が出たのに隠そうとする子や、男子と変わらない口調になる子がいて、後半はかなり荒れ模様になった。彼女たちも勝負事になると本性が出るなりと、楽しい坊主めくりだった。ちなみに、最終回、やつとリーダーが負けた時は、勝ち逃げるかのようにあつと言う間に帰った。勝負の世界はどこも厳しいですね。

営繕委員会2012年1月分 不具合・改善要望処理済一覧

2月5日

場所	項目	内容	原因	処置	費用	処理日
大聖堂 香部屋入り口	故障	防犯灯が昼間でも点灯したまま2灯の内、1灯が電球切れ	防犯灯本体の故障	修理費用と新規購入の費用を比較し、新規購入で交換	¥2,480	1月17日
大聖堂 音響装置	不具合	ワイヤレスマイクが時々途切れる	受信アンテナ2機の内、片側の感度不足	受信アンテナの感度スイッチの調整	¥0	1月26日
マリア館 ホール	故障	会議用機のキャスター破損	設営か収納時にぶつけた	キャスターの交換	¥378	1月28日
マリア館 1階ロビー	照明切れ	数か所天井蛍光灯が点灯しない	経年による器具の故障	安定器の修理今回でロビーの天井灯全て修理完了	¥0	1月28日
大聖堂 ロビー	不具合	聖水盤が水漏れする	御影石が聖水の塩分で腐食	透明塗料で防水処理	¥792	2月3日
					¥3,650	

カトリック教会のカテキズムより

1361 エウカリスチアはまた、教会がすべての被造物に代わって神の栄光を歌う賛美のいけにえです。この賛美のいけにえは、キリストを通してしかさげることができません。すなわち、キリストが信者たちをご自分と、ご自分の賛美ならびに執り成しに一致させてくださるのです。こうして御父への賛美のいけにえは、キリストによって、キリストとともに、キリストのうちに受け入れられます。

キリストとそのからだである教会の、いけにえによる記念

1362 エウカリスチアはキリストの過越の記念、そのからだである教会の典礼の中で行われるキリストの唯一のいけにえの再現、秘跡的な奉献です。すべての奉献文には、制定のことばの後、アナムネシスないし記念と呼ばれる祈りがあります。

# 南山句会

平成二十四年一月十一日



雪と聞く越後地方のしのぼるる

瑞子

山茶花の樹下に散りしく花座敷

紀子

新春を子等と寿ぐ幸せよ

せつ子

初硯幸を祈りて筆を持つ

とく子

穏やかな日和なりけり初の春

牧子

実千両赤きを活けてマリア像

洋子

みまかれし神父の天か聖夜星

義子

蕾多きシクラメン買ひ咲くを待つ

光子

毎月第一水曜日午後一時半  
マリア館一階集会室

## 信者の消息

**転入** ようこそ

テレビア 鳥飼文子 (赤羽教会)

**転出** いつまでもお元気で

小さきテレビア 近藤宏美 (麴町教会)

**帰天** ご冥福をお祈りいたします

ステファノ 向井則光 (60歳)

ヨゼフ 古橋義之 (83歳)

アンナ 天下敏子 (83歳)

アンジェラ 野口ソノ (74歳)



カトリック南山教会のホームページへようこそ!

南山教会のホームページで

- なんざん月報 (PDF形式)
- 毎週のお知らせ
- 主日の御言葉
- お祝いの写真や動画  
などを見ることが出来ます。

どうぞご利用ください!

<http://nanzankyokai.net>

## 2012年2月・3月度行事予定表

	教会典礼歴	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
2月	22(水)灰の水曜日(大斎小斎) 26(日)四旬節第一主日	12(日)9:30堅信式・日英合同ミサ 26(日)洗礼志願式	3(金)マリア会例会(懇談会) 5(日)運営委員会 12(日)ヨセフ会班長会 18(土)10:30子ども部屋 19(日)典礼委員会 26(土)要約筆記付きミサ	16(木)司祭協議会 22(水)四旬節愛の献金(四旬節中) 23(木)司祭評議会
3月	聖ヨセフの月 19(月)聖ヨセフ	18(日)子供のミサ 24(土)~25(日)南山教会四旬節黙想会・共同回心式	2(金)マリア会例会(懇談会) 4(日)運営委員会 11(日)ヨセフ会班長会 17(土)10:30子ども部屋 17(土)要約筆記付きミサ 18(日)教会学校・中高生会卒業式 18(日)典礼委員会	15(木)司祭協議会